

精神科看護師の365日

平成25年度の日精看のテーマ「365」にちなみ、全国のさまざまな施設で働く精神科看護師の日常を紹介します。

file.7

管理職ナースの1日

医療法人 荘和会 菅原病院・
看護科長・高橋恵利子さん(52歳・精神科看護歴30年)の場合



病棟師長の皆さんと。

精神科看護師になったきっかけ

入職して初めて勤めたのが精神科で2年ほど勤務しました。受け持ちの患者さんに喘息の症状があり、「身体症状についても勉強したい」という考えから職場を移して他科へ。5年ほど勤めた後、結婚を機に秋田へ移り住むことになったとき、「患者さんのところに深く触れ、ゆっくりと向きあいたい」と現在の病院に就職しました。

現在の仕事内容

今の病院で働き始めて28年ほどになりますが、10年ほど前に看護科長という役職に就き、4つの病棟の看護師の管理をしています。当院で働く120～130名の看護科スタッフ一人ひとりが、やりがいをもって日々の看護に打ち込めるよう、サポートするのが私の役割だと

考えています。職場の人間関係やキャリアについて、悩みごとがあればいつでも相談してもらえるよう、スタッフには「看護管理室には気軽に来てほしい」と伝えています。

高橋さんの

ある日のスケジュール

- | | |
|-------|---------------------------------------|
| 8:30 | 出勤
メールチェック、
引き継いだ報告を
管理日誌に記録 |
| 10:30 | 管理日誌を病院長に提出し、
その日のスケジュール調整 |
| 11:30 | 病棟のラウンド |
| 12:20 | 昼食休憩 |
| 13:20 | 委員会などの準備 |
| 15:00 | 各委員会や院内の
会議への出席 |
| 17:00 | 病棟師長より受けた
報告をとりまとめて
病院長へ報告、退勤 |

やりがいや励みになること

1日の業務のなかで、いちばん力を入れているのは、午前の病棟ラウンドです。患者さんの顔を直接見て、一言二言でも言葉を交わしながらコミュニケーションをとることで、病棟の状況がわかりますし、師長やスタッフから上がってくる報告についてより理解が深まるからです。そこで得られた気づきを活かして、私ができることは最大限やってやるぞ!と思っています。「病棟を越えて患者さんが一堂に会して交流できる場をつくりたい」という思いから、2年前に多目的ホール新設が実現できたことは、一つの成果となりました。クリスマス会や納涼会、地域交流会などイベントの実施を通じて、患者さんが笑顔になる機会をつくれるととてもうれしく感じます。

今後の目標

スタッフが愛着をもって仕事をすることができ、「自分や家族が入院するとしたらここがいい」と思える職場づくり。その結果として、地域の皆さんに信頼される病院へと成長を続けていきたいです。